

平成30年度第1回学校評議員の会が開催されました。

日 時： 平成30年6月14日（木） 14：20～16：40

場 所： 堅田高等学校 校長室

出席者： 学校評議員 今川委員 寺田委員 東委員 村田委員

学校 藤支校長 小野教頭 藤田教務主任

青井生徒指導主任 西村進路指導主任

足立1年学年主任代理 善村2年学年主任 正木3年学年主任

(欠席者) 谷川委員

### 1【開会挨拶】・・・校長より

授業参観を見ていただいた通り、落ち着いた教育環境が達成されている。模試成績も英検の取得状況も上昇傾向である。堅田に入学することがむつかしくなっているという中学校校長の評価を得ている。70周年記念事業でも同窓会・後援会にバックアップしていただいている。野球・ウエイト・ソフトテニス・吹奏楽など各部活動が頑張っている。

### 2【出席者自己紹介】・・・各出席者より

### 3【学校の現況と課題について】

#### (1) 学校経営方針について・・・校長より

##### 1. 求める生徒像

- i 基礎学力の定着と発展的な学力の伸長を目指す生徒。
- ii 自己の進路希望を実現できる生徒。
- iii 明るく健全な学校生活を送れる生徒。
- iv 地域社会の一員として活躍できる生徒。

##### 2. 平成30年度の重点目標・主な取り組み

- (1) 学習指導の充実
- (2) 人間力の向上
- (3) 希望進路の実現
- (4) 学校全体学園祭部活動の活性化
- (5) 中学生地域へのPR活動

#### (2) 指導方針、重点目標について・・・各分掌より

##### (1) 学習指導について・・・教務主任より

(指導方針) 確かな学力の育成

(重点目標)

- ①基本的な学習習慣の確立
- ②自主的な図書委員会活動の推進と読書指導
- ③情報収集・活用能力の育成
- ④教育課程の検討
- ⑤生徒の学習実態の把握と授業改善
- ⑥道徳教育の推進

(コメント)

落ち着いた雰囲気で行われている。早朝の補習授業も継続している。グループワークやアクティブラーニングを活用した授業改善に取り組んでいる。若い先生方が増え、ベテランや中堅の先生方とともに授業についての意見交換をしている。各時限の予鈴で入室し、授業の準備にあたる習慣が確立されている。次年度入学生の教育課程も確定し、学習環境の整備に向けて取り組んでいる。

(2) 生徒指導について・・・生徒指導主任より  
(指導方針)「あじみ指導」による規範意識の醸成  
(重点目標)

- ①生活指導
  - ・基本的な生活習慣の確立 ー遅刻防止に向けて
  - ・服装指導の充実
  - ・マナー教育の推進
  - ・巡視指導の徹底
  - ・いじめの未然防止
- ②生徒会
  - ・生徒会活動の推進
- ③管理
  - ・校内美化に向けた意識啓発と条件整備
  - ・「有隣館」の管理
  - ・防災・安全の教育推進
- ④人権教育
  - ・健全な心身の育成
  - ー人権教育の推進
  - ー教育相談体制の充実
  - ー特別支援教育体制の整備
- ⑤健康
  - ・健全な心身の育成
  - ー保健教育の推進

－健康に対する意識啓発

(コメント)

問題行動が減ってきている。式典などでの話を聞く姿勢も成長している。あじみ指導の成果が表れている。部活動も活性化してきている。アルバイトを希望する生徒がいるが、高校生として学校生活の充実という点に気持ちをむけさせることができればよいと考えている。落ち着いた教育環境の整備に取り組んでいきたい。

(3) 進路指導について・・・進路指導主任より

(指導方針)「進路実現」の達成

(重点目標)

- ①職業観勤労観の育成を目指したキャリア教育の推進
- ②個々の適性に応じた進路指導の充実
- ③進路実現に必要な学力の伸長
- ④進路開拓の実施

(コメント)

大学進学では、入学定員数の厳格化がすすんでいる。就職は景気の回復が見込まれ、県外からも求人がある。4月には、3年生の進路面談をしている。5月には保護者対象の進学講演会を実施し、経費について講演した。50名ほどの参加があった。今後の進路行事を通して、生徒の進路実現へ向けて学力と意識を高めていきたい。大学入試制度の過渡期であることをふまえ、専門職大学や専門職短期大学などの情報収集をし大学入試改革に向けて対応していくことが課題である。

(3) 生徒の学習状況や生活状況について・・・各学年より

①第1学年について・・・足立先生(主任代理)

順調な船出である。生徒は、学習意欲が高く、授業をしっかりと受けている。気持ちが落ち込んでいる生徒もいるが、教員一丸となってケアしていきたい。

②第2学年について・・・善村先生

上位層の意識が高い。学習が苦手な生徒が中だるみしている。保護者がアルバイトを懇願する場合があつて止めるのに苦慮している。就職希望は30名以内。進学志向の生徒が多い。修学旅行全員参加を目指している。

③第3学年について・・・正木先生

進路決定の最終学年。進路希望は、大学80名。短大10名。専門学校58名。就職42名。希望実現に向けて進路課と協力して取り組んでいる。

(4) 入学者選抜について・・・教頭より

入試倍率の推移を確認。堅田高校が「行ける学校」から「行きたい学校」に変わってきている。成績がオール3では厳しくなっている。ウエイトリフティング競技によるスポ推を実施した。体験入学の参加申し込み生徒も増加傾向にあり、今年度は午前午後の分割実施をする。

(5) 学校評価と改善策について・・・教頭より

- ・平成30年度学校改善策について説明

(6) その他

- ・主な部活動の活動実績の紹介

4 【校務運営に係わる意見交換】

- ・学校評議員からの主な提言等 ○：学校評議員の提言（意見）や質問  
●：学校側の発言

○：退学の生徒はどのくらいいるのか。就職後半年以内にやめている生徒がどれだけいるか。70周年の募金部会の手伝いをしているが、募金の案内がこないという保護者の方がおられた。生徒に70周年の意義を伝えてほしい。

●：2年退学2名、3年2名進路変更。過去はたくさんやめた生徒がいた。

●：離職について、ヤマザキパン1名あり。70周年の意義は式典などの機会ごとに話している。

○：落ち着いている。ただ、生徒の背筋が弱いのか、学習時の姿勢が悪いのが気になった。いい雰囲気頑張ってくれている。子どもたち自ら考えて行動させる工夫が素晴らしい。

○：制服について、ネクタイをしったりしなかったりしている。統一はしないのか。みばえの問題。総合の授業は、楽しそうに生き生きとしていたのが印象的。堅田高校生には、もっと堅田のことを知ってほしい。将来、出身地のことについて聞かれたときに、胸を張って堅田の良さを言える子どもになってほしい。それこそまさに総合の学習ではないか。人間性を磨く授業。図書館が好きになるような工夫がみられて親しみやすいので良い。

●：学習指導要領3単位総合・探求の時間が規定されている。本校では1年で1時間。学び直しの時間として、教材を活用。3年で2時間。自分の学びたい分野を各自で選択している。

●：ネクタイの件。ブレザーをした時にはネクタイをするという指導。今は柔軟な形となっている。ネクタイをだらしなくしている生徒には取りなさいという指導をしている。服の裾は、男子は入れる。女子は出してもよい。ここという統一はできていないが、ある程度、見よい服装を守っているのではないかと。通学路指導でも見守っていききたい。

- ：生徒に通学路などでも見られているという意識をつけてほしい。さらに良くなる。
- ：授業参観の感想として、全体が落ち着いて受けている。総合学習は、活発に取り組んでいる。メリハリのついた授業を受けている。質問だが、昨年度3年生の大学進学50人ぐらいと報告を受けたが、今年の3年は希望80人とあった。差異はどういうことなのか。
- ：傾向として4年制を目指す子が増えてきている。短大は減っている。就職は昨年と同じくらい。あくまで希望ということでもある。
- ：自転車・徒歩・通学手段どんなものの割合か。
- ：距離によって自転車通学できるルールがある。
- ：歩いている生徒の数が年々増えているのではないか。
- ：湖西沿線8中学校出身生徒が多い。電車利用の生徒が増えているのだろう。
- ：70周年について知ったのが、寄付の案内を受けて初めて知った。東洋紡など近隣の企業には来ないものなのか。
- ：70周年の募金の担当をしている。募金については、きめ細かいリストアップをしているところである。7月8月にお願いに上がる。PR活動は広報の係がやっている。
- ：平日に記念式典するのか。
- ：数年前から開校記念日に合わせて実施すると決めている。
- ：授業の様子として、3年生がのびのび取り組んでいる。1年生がおとなしくまじめ。入学してから、学校が面白くないと思っている子や目標がない子に対してのかかわりの持ち方はどうしているのか。
- ：イベントや行事でかかわりが持てるように工夫する。仲間づくりの機会となればよい。教育相談担当の教員や養護教諭に相談があるケースもある。スクールカウンセラーの利用などを通して、そういう子のケアもしている。
- ：今春卒業した息子の様子を見て、堅田高校で授業を受ける姿勢を指導していただいたというのを感じている。

## 5 【閉会挨拶】・・・校長より